**75歳以上の医療費窓口負担2割化の中止を求める意見書（案）**

**政府は昨年12月15日、年収が200万円から上の人の75歳以上医療費窓口負担2割化を2022年秋から実施することを閣議決定しました。75歳以上の高齢者は、病気やけがをすることが多く複数の医療機関を受診したり、治療が長期化するケースが多くあり、約370万人の窓口負担が2倍となります。**

**特に、新型コロナウイルスの感染拡大に対する高齢者の生活と健康に対する不安が高まっているこの時期に、医療費負担を増やすことは、高齢者、とりわけ低年金で暮らす人や、無年金の人、生活保護は利用していないが同水準で暮らしている人たちにとっては、命にかかわる問題です。コロナウイルスの影響で、自殺者も増えている報道もされています。こうした悲劇をこれ以上出さないためにも２割化は中止すべきです。**

**窓口負担1割の現在でも、経済的事情で医療機関の診療をためらい重篤化するケースが報告されています。重篤化する前に、安心して医療に書かれる環境は、高齢者にとっては大きな問題です。**

**以上のことから、75歳以上医療費窓口負担2割化の中止を求めます。**

**内閣総理大臣　　菅　義偉　　様**

**財務大臣　　　　麻生　太郎　様**

**厚生労働大臣　　田村　憲久　様**